

## 教育委員会 1 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年 1月 9日(水) 午後3時から午後4時まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一  
同職務代理者 近 藤 守  
委 員 茅 野 理 恵  
委 員 鷲 澤 幸 一  
委 員 山 口 美 和
- 4 説明のために会議に出席した者  
教 育 次 長 藤 澤 勝 彦  
教 育 次 長 勝 野 学  
教育次長副任兼  
学校教育課長 前 島 卓  
教育次長副任兼  
家庭・地域学びの課長 野 池 達 朗  
総 務 課 長 北 島 克 彦  
保健給食課長 山 口 恭 司  
文化財課長 石 坂 陽 子  
学校支援官 酒 井 好 和  
総務課長補佐 穂 川 さゆり
- 5 書 記 総 務 課  
庶務担当係長 児 島 真 季

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

新年明けましておめでとうございます。委員の皆様におかれましては、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

塚田委員の任期満了に伴い、後任として山口委員が昨年12月23日付けで就任されました。山口委員には、未来を担う子どもたちのために、本市の教育行政に対してご指導賜りますようお願い申し上げます。

(山口委員が挨拶した。)

元日に、石川県能登地方を震源とする震度7の大きな地震が発生し、多くの方が犠牲となった。日を追うごとに犠牲者の数が増え、大変痛ましい。亡くなられた方の御冥福をお祈りするとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げる。長野市は震度5弱で、大きく揺れ、第二配備の発令により、職員が召集された。市内においては、人的被害がなく、学校施設をはじめ、教育関連施設におけるそれほど目立った被害もなく、安堵している。

市内小・中学校は本日をピークに3学期が始業となる。昨年末には、第二学校給食センターで発生した漏水事故により、冬休み前の2日間の給食が提供できず、児童・生徒、保護者の皆様には大変御迷惑・御心配をおかけした。その後の復旧作業の結果、本日3学期の始業から、平常どおり予定されていた献立表の給食を提供することができた。復旧作業に当たっていただいた電気工事関係の皆様、第二学校給食センター職員に感謝申し上げます。二度とこうした事故は起こさないようにしていくのが第一だが、今後もこのような事故がいつ起こるかは分からない状況である。今回の事故を教訓に、万が一事故が発生し、給食センターが長期にわたって稼働できないとなった場合に対するリスクヘッジ、業務継続計画についても明確に作成しておく必要があると感じた。

2024年は、4月に教育支援センターSaSaLANDのオープン、5月に重要伝統的建造物群保存地区協議会の全国大会が戸隠で行われるなど、大きな事業が早々に立て続けに予定されており、大事な年になると思っている。今年は激動が予感されるような年明けになったが、皆様にとって明るく希望に満ちた実り多き1年であるよう祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

・委員異動に伴う事務局職員の自己紹介

<協議事項>

協議1号「令和7年度長野市立長野中学校入学者選抜の実施日程について(案)」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

協議2号「長野市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則(案)及び長野市特定地域学校選択制度等について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

<一般行政報告>

報告1号「市議会12月定例会で論議された主な政策課題等について」

報告2号「令和5年度教育費補正予算について」

これら2つについて関連のある事柄であるため、丸山教育長が合わせて事務局に説明を求めた。

藤澤教育次長が説明した。

#### 報告1号「市議会12月定例会で論議された主な政策課題等について」

主なものを中心に説明した。

- ・新たな教育支援センター SaSaLANDについて
- ・教員不足について
- ・不登校児童・生徒の居場所と移動について
- ・主権者教育の現状について
- ・アントレプレナーシップ教育について
- ・香害について
- ・不登校生支援の具体的な政策について
- ・これからの学校教育について
- ・学校給食の無償化、地産地消と見える化について
- ・公民館の運営について
- ・(仮称)豊野防災交流センターについて
- ・文化財について(文化観光推進法と防火対策)
- ・真田宝物館の建て替え等について
- ・青木島小学校環境整備事業の多目的棟・トイレ、学校周辺の環境改善について
- ・鬼無里中学校の閉校について
- ・小・中学校の閉校について
- ・市内学校における男女生徒の同室着替えについて

#### 報告2号「令和5年度教育費補正予算について」

- ・議案第92号の歳出内訳のうち、短期大学・専門学校等施設整備補助金は、長野女子短期大学の幼児教育学科新設と共学化に伴う申請により、上限5,000万円を3年度間に分割して支払うもの
- ・学校施設整備費は、青木島小学校の環境整備、3校の小中学校体育館に空調設備を試験的に設置するもの
- ・議案第137号の歳出の職員人件費については、人事院勧告に基づく給与改定によるもの

丸山教育長

人件費は、毎年12月に補正されるものか。

藤澤教育次長

予算は、前年度秋頃の数や給与を基に決めているので、4月の異動等に伴う人数や年齢の違いによる調整を毎年12月補正で行っている。今年は給与改定差額が出たため、二度行ったものである。

#### 報告3号「工事請負契約の締結について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島総務課長が説明した。

- ・地方自治法の規定に基づき、予定価格1億5,000万円以上の工事請負契約の締結について、12月市議会に提出し可決されたもの
- ・工事の目的は、全て学校施設長寿命化計画に基づき、老朽化が進む校舎等の全面改修を

行い長寿命化を図るもので、主に鉄筋の腐食対策、屋根・外壁・内装の改修、断熱対策、バリアフリー化などである。

丸山教育長

議案第132号の契約の方法が、他のものと違い事後審査型一般競争入札なのはなぜか。

北島総務課長

5億円以上の設計金額のものが条件付一般競争入札、それ以外が事後審査型一般競争入札となっている。

委員 今年度、長寿命化改修建築工事が行われるのは、この4校か。

北島総務課長

令和5年度から6年度以降にかけて行うのは、この4校である。

報告4号「長野市立学校設置条例の一部を改正する条例について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

報告5号「長野市立公民館条例の一部を改正する条例について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が説明した。

委員 更北公民館の指定管理者による管理はどれくらいの期間行われていたのか。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

平成28年度から行っていただいていた。

丸山教育長

現在、指定管理の公民館は何館あるのか。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

公民館と交流センター全29館中、芹田・吉田・若槻・安茂里・芋井・川中島・更北・信更・長沼の9館である。

報告6号「長野市立若槻公民館の指定管理者の指定について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が説明した。

・公募によらない指定管理者選定に関する指針により、申請団体は非公募とした。

丸山教育長

コミュニティわかつきは何期目か。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

平成28年度から、1期目は3年間、2期目は5年間の指定となっており、これで3期目5年間となる。

報告7号「工事変更請負契約の締結について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長が説明した。

・労務単価の上昇に伴う、公共工事設計労務単価等に係る特例措置に基づき、新労務単価

を適用したことによる増額、及び柱状地盤改良工事の施工に当たり、試掘調査を行ったところ、地盤改良に適さない玉石の存在が判明したため、玉石の撤去と良質土への置換工事が生じたことによるもの

- ・現場発生土による外構盛土を計画していたが、発生土の大半が盛土材に適さないものであったため、固化添加剤による改良工事が必要となったこと、さらに昨年度施工した道路改良工事の発生土を本体工事の盛土材として使用する予定であったが、当初計画より多くの場内発生土が得られ、不用となった盛土材の処分が必要となったことによるもの

丸山教育長

玉石は豊野町の町営住宅の建設時に入れたものなのか。

野池教育次長副任兼家庭・地域学びの課長

地層から見ると、もともと浅川にあった石が堆積したもので、人工的に入れたものではないと思われる。

報告 8 号「長野市立博物館資料の管理に関する専門家会議委員の選任について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

石坂文化財課長が説明した。

- ・各委員の専門分野は、竹下氏が自然、村石氏が歴史、林氏が美術、窪田氏が民俗、田中氏が民具となっており、それぞれの専門分野に関する資料の管理等につき御意見を伺い、博物館の資料収集や管理の方針に反映させるとともに、資料の整理の状況についても御意見を伺うものである。

丸山教育長

専門家会議は何回行う予定か。

石坂文化財課長

これから第 1 回を開催するところであり、決まりはない。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業 0 件、共催事業 0 件、後援事業 29 件（賞状交付 5 件）

○「令和 5 年度 長野市子ども議会」の開催について（勝野教育次長）

- ・平成 27 年度から始まり、今年度で 9 回目となる。目的（3）は、子ども基本法が施行されたことから、新たに追加した。
- ・参加者は、私立も含めた児童・生徒である。
- ・2 月上旬に行われる長野上水内中学校生徒会サミットで議論された内容から、長野市への要望等を、生徒会サミット代表者が提案する機会も予定している。
- ・保護者や参加者から、議場で議員として議論したいという意見が多く聴かれ、議場での議論の時間を多めに取ることをとすため、今年度は、経済文教委員会の議員との懇談は行わない予定である。

委員 難しいかもしれないが、多様性の観点から、不登校児童・生徒からも、参加者が出てくればと思う。今後の主権者教育となるよう、強制や推薦ではなく、自発的に参加できるこうした機会があるということをもっと幅広く工夫して周知をしていただけると良い。

勝野教育次長

全ての子どもたちに声を掛けているが、不登校に係る内容は今のところ出てきていない。昨年度は、LGBTQの友達に関する貴重な意見があった。今年度挙がってきた意見の中では、クリアウォーターへ行った子による、日本とアメリカの教育の違いについての意見が面白いと感じている。不登校に係ることも今後やっていきたい。

委員 子どもたちの意見をどう拾い集めていくかが難しい。例えば、市立長野中学校・高校では総合の発表会があるが、そういうところから情報を集めていくとか、フリースクールの児童・生徒にも問い掛けるなどしていくと良いのではないか。

丸山教育長

議会形式にとどまることなく、意見発表会や、子どもの意見を聴く機会を設けるなど、いろいろなことをやっていると良い。多様性のある子どもたちの意見も発表できる機会をこれから考えていかなければならない。

次回以降の日程確認（北島総務課長）

2月定例会	1月31日（水）午後1時	教育委員会室 定例会後、総合教育会議を予定
3月定例会	2月20日（火）午後3時	教育委員会室 定例会前、管内視察を予定

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員